

金智賢『日韓対照研究によるハとガと無助詞』（ひつじ書房、2016 年）

本の概要：

本書は、現代韓国語と日本語の談話における無助詞、及び、それと関連する有形の助詞「eun/neun」「ハ」と「i/ga」「ガ」の語用論的体系を対照的に分析したものである。両言語の自然談話における各助詞類の使い分けの実態を計量的に調査、さらに、質的に対照分析することで、各助詞類の語用論的意味や日韓の類似点及び相違点を明らかにし、韓国語と日本語のそれぞれにおける助詞類の体系を再整備することを目指した。計量的な調査では、自然談話の中から主語―述語の形をしている単文を全て抽出し、主語名詞句の性質、述部動詞句の性質、文のタイプなどによって主語のとり助詞がどのように表れているかを調べている。その結果、韓国語と日本語では、有形の助詞における違いはあるものの、無助詞に関しては、発話の現場とかかわる名詞句や文タイプに用いられやすいという共通点が見られた。質的な分析では、実際の談話の綿密な分析を通して、無助詞の特徴としての現場性の概念を明らかにした後、計量的分析で見られた助詞の使用における日韓の違いについて論じている。また、従来助詞の使用と関連付けて論じられてきた情報構造と主題の問題を取り上げ、主題の概念を整理した上で、助詞「eun/neun」「ハ」と「i/ga」「ガ」と無助詞がそれぞれ主題とどうつながっているかを明らかにした。

著者略歴：

1974 年韓国大邱生まれ。1997 年慶北大学人文大学国語国文学科卒業。2003 年東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了。2009 年同研究科博士課程修了。博士（学術）。現在、宮崎大学語学教育センター准教授。主要な業績は「現代韓国語の談話における無助詞について―主語名詞句を中心に―」（『朝鮮学報』210、2009 年）、「無助詞及び「은/는(eun/neun)」「は」、「이/가(i/ga)」「が」と主題について」（『日語日文学研究』72-1、2010 年）、『教養韓国語初級』（朝日出版社、2015 年）、『教養韓国語 中級』（朝日出版社、2016 年、共著）など。

〔関連 URL〕 <http://www.hituzi.co.jp/hituzibooks/ISBN978-4-89476-789-8.html>